

2025 年 4 月 11 日

各位

沖縄県労働金庫

**【活動報告】2024 年度「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」
地域で活躍する高校生・大学生の取り組みをご紹介します！**

沖縄県労働金庫（理事長 東盛 政行）は、高校生・大学生に向けた地域活動・社会活動支援策として「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」の寄附先を決定し、2024 年 7 月に寄附金を贈呈しました。

本プロジェクトは、沖縄・地域のために何かしたい高校生・大学生の活動を応援する寄附金となっています。「社会人」より活動資金を得ることが難しい「学生」へ資金支援を行うことで、学生自身が活動を通じて得られる知識や経験の広がり、沖縄の地域活動・社会活動のさらなる活性化を期待します。

つきましては、寄附した高校生・大学生グループより特色豊かな活動報告をいただきましたので、ご紹介します。

なお、本プロジェクトについては、2025 年度も実施いたしますので、詳細は最終ページをご覧ください。今後も当金庫の理念にある「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」ため、地域活動・社会活動のさらなる活性化に取り組んでまいります。

記

1. 2024 年度「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」概要

(1) 対象者

沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等の地域活動・社会活動に取り組む高校生、大学生のグループ（2 人以上）であること。

(2) 寄附額

総額 100 万円、1 グループ上限 10 万円

(3) 応募状況

2024 年 4 月 1 日～5 月 31 日に募集し、34 グループを応募受付

高校生：13 校 19 グループ

大学生：6 校 15 グループ

(4) 寄附先グループについて

12 グループに寄附決定

高校生：6 校 6 グループ

大学生：5 校 6 グループ



沖縄・地域のために何かしたい高校生・大学生の「あといっぱい」を応援します！

プロジェクト

あといっぱい

ろうきん

詳しくはろうきんホームページから

応募期日
2024 年
4 月 1 日(月)～
5 月 31 日(金)

「自分たちがガイドのバスツアーをしたい！」「環境のことを考えるイベントを開きたい！」など、高校生・大学生の皆さんが挑戦したいことを応援する助成金です。

対象者 沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等の地域活動・社会活動に取り組む高校生、大学生のグループ（2人以上）であること。その他条件については、チラシ裏面、ろうきんホームページからご確認ください。

助成金額 総額 100 万円
1 グループ
上限 10 万円

2024.03

2. 2024 年度寄附先グループ一覧

寄附先団体（順不同）		グループ名	資金使途
1	美咲特別支援学校	エコロジーサービス班	職業生活に必要な挨拶やみだしなみ、技術を学ぶために訪問している総合教育センターや老人ホーム等の清掃活動を行っており、その際に使用する掃除道具（高圧洗浄機、草刈り機）を新たに購入したい。
2	美里工業高校	美工電気ものづくりチャレンジ	地域の小学生を対象にもものづくり体験教室を実施するため、3Dプリンター等機材を購入したい。
3	八重山商工高校	八重山商工家庭クラブ同好会	民話について研究し、地域に伝わる伝統文化を学ぶため、フィールドワークを行ったり、講演会や上映会に参加するための費用としたい。 民話の紙芝居を作成し、保育園や幼稚園、小学校で披露するための材料費として使いたい。
4	美里高校	チームR	フードロス問題やフードマイレージの課題解消に向け、地元農家で廃棄予定の野菜を収穫し販売する取り組みを高校生ボランティアと一緒にやりたい。そのための道具購入や交通費として使用したい。
5	沖縄尚学高校	地域研究部・こどもサポートグループ	学校周辺のこども食堂や地域の人々を対象に、カレー作りやおもちゃ作りのイベントを行うための費用としたい。
6	読谷高校	読谷高校科学同好会	沖縄の木材からバニラの香り成分を合成する方法を解明し、量産化の方法を確立するため、実験に必要な薬品等を購入したい。
7	琉球大学	学生団体 VONS	浦添市内の児童館2ヶ所で小中学生を対象としたSDGsについてアクティビティを通して学ぶ講座を実施したい。 季節のイベントを企画し、児童館の子ども達が海外文化に触れたり、地域の人々と交流する機会を提供したい。
8	沖縄キリスト教学院大学	Ladybird	子ども達の生理に関する知識を深め、「生理の貧困」に対する理解を広げる機会を提供するため、出前授業を行いたい。その際に使用する生理用ナプキンを購入したい。 学内のトイレに生理用ナプキンを設置したい。 生理について考えるイベントを開催するため、ポスター・ステッカー作成、生理用品の展示品を購入したい。
9	琉球大学	琉球大学 Robot サークル	沖縄県内の小中高生を対象としたものづくり体験教室（ロケットやロボットの製作、プログラミング体験）の運営と教材開発費に使用したい。
10	沖縄県立看護大学	ふしゃぬふうぐなーり café	高校進学のため沖縄本島に島立ちした高校生（多良間村）の生活面、人間関係、勉強面をサポートするための交流会、勉強会を開催するための費用としたい。
11	沖縄県立看護大学 琉球大学 名桜大学	沖縄県島嶼ケアコミュニティ	沖縄県の看護ケアレベルの向上のため、授業時間以外で勉強会を実施するための費用としたい。
12	琉球大学 沖縄国際大学	慧 (sui)	中高生に無料で服を届けるためのイベント「0円マーケット」を実施するための費用としたい。

3. 活動報告より一部抜粋

(1) 美咲特別支援学校「エコロジーサーブス班」



今回の寄附金を活用して、草刈り機と高圧洗浄機を購入し、地域および福祉施設・教育施設の清掃活動を行いました。県総合運動公園施設内のゴミ拾いや草刈り機を活用した雑草取り等を行い、見栄えがよくなったことで、地域住民から「清潔で快適な空間になった」と好評の声をいただきました。老人ホームでは、購入した高圧洗浄機を用いて、窓ガラスの清掃を行いました。清掃活動を通して、地域と繋がり協力体制を築ききっかけとなりました。

(2) 美里工業高校「美工電気ものづくりチャレンジ」



今回の寄附金を活用して3Dプリンターやロボットの基盤となる材料を購入し、ボディ制作を行いました。そこから、デイサービスや小学校でプログラミング教室（体験）を実施することに繋がりました。また、ロボット相撲大会（県大会・九州大会・全国大会）に出場し好成績を収めることもでき、幅広く活動することができました。

(3) 八重山商工高等学校「八重山商工家庭クラブ同好会」



失われつつある「石垣の民話」を子どもたちに伝えるために、手作り紙芝居を制作し近隣のこども園・保育園で披露し伝統文化を広げる活動を行いました。このプロジェクトを通して、小さい頃に親しんだ石垣の民話について詳しく知る事ができ、伝える大切さを再認識しました。また、園児や保育士の皆さんに喜んでもらい応援してもらえたことが一番やって良かったと感じました。

(4) 美里高校「チームR」



「廃棄される野菜を救い出す」べく、地元農家と提携し、野菜版ブラックフライデー「ベジカラフライデー」を企画・実施することで、地産地消の推進、フードロス問題と環境問題の解決に貢献できると考え、ベジカラフライデープロジェクトを立ち上げ、活動しております。またこの活動を広めることで高校生でも社会問題に参画できることを周知したいと考えています。私達の活動を広げるために、コンクールや交流会にも積極的に参加しました。

(5) 沖縄尚学高校「地域研究部・こどもサポートグループ」



助成金は主に食材費と教材費に使用させていただき、子ども食堂「尚学童」を開催しました。子どもたちには夏休みの宿題を持参してもらい、午前中は学習サポートや一緒に工作を行い、お昼には一緒にカレーとお菓子作りを楽しみながら食事しました。昼食後に、私たちが普段活動で練習している「国場エイサー」を披露し、沖縄の伝統文化にも触れてもらいました。この活動を通して、地域とのつながりを深めるという目標は達成できたと思います。

(6) 読谷高校「読谷高校科学同好会」



世界でバニラが不足していることから「木材を使ったバニラ香料の開発」を行いました。木材の樹皮に含まれる「リグニン」の分子からバニラの香りを発する「バニリン」という分子を合成できれば、バニラ不足の解消に貢献できるのではないかと考えました。今回のバニリンの実験は、内容、実験器具や薬品調達ともに難しく、身近な物を使って実験方法を考えました。校内のカンヒザクラから「バニリン様」を合成したことは、世界のバニラ不足に貢献するには小さな一歩ですが、自信となりました。

(7) 琉球大学「学生団体 VONS」



今回いただいた助成金は、ポスター作成や作品製作の資材等、ギフト製作のお菓子、zoomの購入、クリスマスカードの郵送に活用させていただきました。活動を通じて、子ども達が児童館に「また来たい！」と思えるような居場所づくりに繋げることができたと実感しております。今後も子ども達が、自分を取り巻く社会や世界に目を向け、自分の好きなことに積極的に挑戦できるようにすることを期待しています。

(8) 沖縄キリスト教学院大学「Ladybird」



Lady birdでは、毎年5月28日を「生理をジェンダーレスで考える日」と制定し、「生理」について性別関係なく理解しあい、生理について話せる社会を目指し活動を行っています。小中学校の児童・生徒、養護教諭の先生方に向けて出前授業や学内イベント開催等幅広く活動ができました。助成金については、イベントのチラシ、ポスター、ステッカー等備品の購入にあてました。

(9) 琉球大学 「琉球大学 Robot サークル」



プログラミング未経験者でも気軽に参加できる「プログラミング体験会」やロケット制作から打ち上げまで体験できる「ロケット体験会」を実施しました。また、沖縄県は、製造業や理系学部を持つ高等教育機関が県外と比較して少ないことにより、科学技術系のイベントがあまりないことから、「ロボットコンテスト」を開催しました。オリジナルのロボットキットの製作を2名1組で行い、製作したロボットで試合まで臨み、共同作業の難しさやものづくりの楽しさを体験しました。

(10) 沖縄県立看護大学「ふしやぬふ うぐなーり cafe」



今回いただいた助成金は、活動の会場費や移動費などに使わせていただきました。ウォークラリーやバレーボール大会、クリスマスパーティー等の様々なイベントを開催しました。活動を通して、島立ちして本島で生活していくようになった高校生が新しい環境に溶け込み、安心して過ごせるために定期的に来まれるような「居場所づくり」を支援することが出来ました。

(11) 沖縄県看護大学・琉球大学・名桜大学「沖縄県島嶼ケアコミュニティ」



県内の医療系学生に向けた医療知識の勉強会を開催しました。内容としては、医療用模擬人体機器などを使用し、異常心臓音や呼吸音の見分け方などの判断方法や心肺停止の際に行う一時救命である BLS の効果的な介入方法と、心肺蘇生技術の習得等行いました。全ての技術において、開催講師の先生がテスト形式の確認を行い参加者全員が合格し、修了証が授与されました。継続して勉強会を行い、知識向上を図ります。

(12) 琉球大学・沖縄国際大学「慧 (sui)」



助成金をイベントの開催チラシや備品購入等に充て、沖縄県内の中高生を対象に0円マーケットを開催し無料で服を提供しました。子供たちに服を無料で提供すること、子どもたちが「自分の好きな服を自分で服を選ぶ経験」の提供、中高生と大学生の繋がり、居場所の形成、これらを活動の目的として取り組みました。

4. 2025年度「ろうきん・あとっぽプロジェクト」募集概要

2025年度においても、「ろうきん・あとっぽプロジェクト」寄附先グループを募集します。募集期間、応募方法は以下の通りとなりますので、ご応募お待ちしております。

(1) 応募期間

2025年4月1日(火)～2025年5月31日(土)

(2) 寄附額

総額140万円、1グループ上限10万円

(3) 応募方法

下記のURL、QRコードから応募要領を確認し、応募書類を沖縄県労働金庫（経営統括部）にEメールにてご提出ください。



リンク先 URL : <https://www.okinawa-rokin.or.jp/about/1555404608/atoippo/>

以上

本件に関するお問合せ先
沖縄県労働金庫 経営統括部
経営企画課 担当：玉城
TEL：098-861-1196